

附属機関等の会議結果の公開 様式

会議名	令和3年度第2回愛荘町立図書館協議会 会議結果(概要)
開催日時	令和3年(2021年)11月17日(水) 19時30分～21時00分
開催場所	秦荘図書館
出席者	西澤基治会長、安孫子雅城副会長、大辻登代子委員、辰巳和美委員、辻野ミ子委員、西村知子委員、野村仁美委員
事務局	教育長 徳田寿、図書館長 茶谷えりか、図書館参事 小川亜希子、図書館課長補佐 下村今日子、三浦寛二
傍聴者	0人
議題	(1)今年度上半期 行事の報告、図書館利用状況について (2)子ども読書活動推進計画の進捗状況について (3)その他
審議内容	<p>(教育長挨拶)</p> <p>図書館協議会委員の皆様には日ごろより教育行政、図書館にご指導ご協力いただき、感謝申し上げます。新型コロナウイルスは落ち着きを見せていますが、感染症の第6波への備えも必要といわれています。</p> <p>さて、先日11月1日に近畿市町村教育委員会研修会に参加し、脳科学者の川島隆太先生の講演を聞く機会がありました。スマホ等のメディアに接する時間が長時間になると脳へ悪影響がある、読書に脳を使うことはクリエイティブな想像力を育て、言語発達にも有効である、という話があり、愛荘町の進める減メディア親読書の取り組みは正しかったと感じました。</p> <p>現在、来年度の予算編成が進められています。来年度は、小学校低学年の読書環境の充実を図ることを目指しています。また、お母さんのお腹の中にいるときから中学校卒業まで、16年間の教育環境を整備するに際し、読書の取り組みを重視し、教育施策の見直しを図ります。まずゼロ予算でできることとして、1日体験入学や1日入園の際に減メディア親読書の取り組みを広報することを進めています。</p> <p>今後も愛荘町が読書の町となるよう、図書館協議員の皆様のご協力をお願いします。</p> <p>(事務局)</p> <p>愛荘町立図書館協議会は、愛荘町立図書館条例および愛荘町立図書館協議会規則により運営されております。この要綱によれば、「会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。」とあり、委員9名のうち本日のご出席は7名であり、会議が成立しております。それでは、会長と副会長に議事進行をお願いします。</p> <p>(会長)</p> <p>それでは議案1、今年度上半期の行事の報告、図書館利用状況について事務局よりお願いします。</p>

(事務局)

愛知川図書館の今年度の利用状況をお伝えします。今年度は臨時開館することなく継続して開館しています。ようやく感染症の状況が落ち着き、昨年度比で図書館の貸出冊数が増加しています。また、来館者数も戻りつつあると感じています。

(事務局)

秦荘図書館についても同様で、貸出冊数は増加しています。また、秦荘図書館ではオーダーメイドおはなしかいとして、申し込みいただいた方それぞれに応じたおはなしかいを実施し好評です。秦荘図書館では今週末に韓国語絵本のはつみみえほんを開催します。ぜひご参加ください。

(事務局)

愛知川びんてまりの館では、今年度「カミロボ」の展示を行い、コロナ禍でしたが多くの方に来ていただきました。また、今年度より愛知川びんてまりの館の案内ができるボランティアを育成することを目的として、観光ガイド養成講座を開催します。

(会長)

ただいまの報告について、ご意見等があればどうぞ。

(委員)

図書館入り口に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため30分以内のご利用を、と書いてあると思いますが、実際のところどのように利用されていますか。

(事務局)

長い間いらっしゃる方がいる場合、場合によってはお声がけさせていただいていることもあります。おおよそみなさん短時間で利用されていると思います。

(委員)

利用者へ注意するような状況はありますか。

(事務局)

愛知川では特にありません。新型感染症の様子を見ながら、制限については随時見直してまいります。

(委員)

びんてまりの館の観光ガイド養成講座について具体的に教えてください。

(事務局)

今年度はびんてまりの製作を体験していただく予定です。次年度は接遇やびんてまりの歴史などを学び、最終的には再来年よりびんてまりの館でボランティアガイドを務めていただけるよう育成します。今のところ、お願いするのは年に数回になるかと思います。

(委員)

どういう内容のボランティアを想定していますか。

(事務局)

びんてまりの館のガイドさんとして、説明を10分から20分間程度お願いしたいです。

(委員)

びんてまりを作ったことがない方でも構わないか。

(事務局)

関心があればどなたでもご参加いただけます。

(委員)

参加は大人のみですか。中学生は参加できないですか。

(事務局)

18歳以上の町民または在勤の方を対象とします。子どもガイドを商工観光課が養成していることもあり、今回は大人を対象とします。

(会長)

続いて議題2、子ども読書活動推進計画の進捗状況についてお願いします。

(事務局)

小学校の学校図書館への図書指導員の週5日間配置も2年目を迎え、学校図書館の貸出冊数は順調に増加し多くの児童に利用されています。町立図書館の児童書の利用も増加傾向で、学校図書館や町立図書館を通じた読書環境の整備が実を結びつつあると思います。今後はこれをどのように継続してゆくかが課題となろうかと思っています。

(会長)

先日、新聞でも読書や図書館司書の大切さが掲載されていました。学校図

書館は第二の保健室として、いつも図書指導員がいることはとても大切と思います。

(委員)

読書ボランティアの月のくまさんの一員として秦荘東小学校に行った際に、学校始業前に図書室の前を通ると長い行列ができていて、本当に学校図書館が大切な存在になっていることを実感しました。秦荘西小学校の児童サポートで行ったとき、1年生が「水曜日はノーメディアデーやよ」と言っていて、教育長の取り組みが浸透していると感じました。学校での取り組みが、子どもにも良い影響となって広がるとよいなと思います。

(事務局)

ノーメディアデーは、秦荘西小学校では水曜日に本を借りるよう取り組みをしており、その成果が出ていると思われます。学校図書館では学校の始業前が最もよく利用されているように感じます。

(委員)

朝始業前の8時から学校図書館が開いているのは本当に良いと思います。

(事務局)

始業前から読書することで、授業にも落ち着いて入っていけるのでは、と思います。

(委員)

愛知川小学校では、子どもが学校図書館にワクワクしている様子が伝わってきます。

(委員)

図書館から図書指導員を配置していますが、学校図書館の重要性を考えると、図書館の負担ではなく、学校教育の一環として司書教諭が担うことも必要かと思うのですが、いかがですか。

(教育長)

子どもたちの将来を育てるためには、読書は必要不可欠です。そのため、県内でも先駆けて小学校の学校図書館に図書指導員を配置しました。本来は県費等で負担すべきところであるかもしれませんが、町の喫緊の課題として重点施策として取り組み、成果が出ているところです。愛荘町として、大人も含めて読書は大切、と町長も申しております。

(委員)

町立図書館が学校図書館を担っている現状の次の段階としてはどのように考えていますか。

(教育長)

学校教職員も本腰を入れて読書に力を入れ始めており、例えば秦荘東小学校でも読書活動に前向きに取り組んでいます。この状態を広げることが課題です。

(委員)

冒頭のあいさつで読書環境の整備にふれられていましたが、読書ボランティアの月のくまさんの活動でよみきかせを聞いてとても楽しかったです。年齢関係なく楽しめるので、例えば中学生にもよみきかせをしても良いと思う。

(事務局)

夏休み前の本の紹介の時間に、よみきかせを入れています。愛荘町の子どもたちは小学生の頃からおはなしかいを聞いており、中学生でもおはなしかいの時間はよく聞いてくれます。

(会長)

愛知中学校校舎改築が完成の折には、中学校にも図書指導員を配置してほしいところです。

(委員)

スマホやゲームの世界に生きている子どもにやめろ、とは言いにくい面があります。保護者になるべくスマホやゲームに触れる時間を減らすよう伝えることが必要と思う。乳幼児期からスマホを見せている保護者も多く、折々で絵本の大切さを伝えることが必要と思います。大人になってから絵本を読んでもらった経験が活きるので、親子のかかわりのうえでは絵本の読み聞かせがいいですよ、といつも助言しています。教育長のあいさつの川島先生の話をもっと伝えては、と思います。

(教育長)

学力調査のアンケートに、「1週間で何冊本を読んだか」という項目があり、愛荘町の中学3年生の回答では60%以上が1冊も本を読まない、という結果が出ておりショックを受けています。小さいころから本が好き、という子どもを育てたい。本を読むために、スマホやゲームと自分から距離を置くことができる子どもを育てたい、そうでないとAIに負けてしまう、と感じています。

(委員)

自分の生活を振り返ると、ゲームもするし本も読む。図書館で好きな本を読

んで熱中しているときはずっと本を読んでいるような状態です。そこで、読みたいと思う本が手近にあることが大切と思う。ゲームからは離れられないと思うし、読書をするには少し力が必要。でも、本を読みたい、となってほしい。

(委員)

自分の孫も、小さい頃は絵本があれば集まってきたのが、大きくなると本からは離れてしまい、寂しく感じている。

(委員)

よみかせをした子どもから、読んだ本の登場人物のセリフで呼びかけられることがあり、読書に親しみを感じてもらえるのはとても良いことと思う。

(委員)

お父さんが家でずっとゲームをしている家庭もある。

(委員)

ゲームをしても、家で誰かが「何しているの？」と話しかけて、共有することが大切と思う。読書の楽しみを共有することもできるし、楽しみを作ることも大切と思う。町内あちこちで子ども同士が本について話をできる環境になればいいのに、と思う。

(会長)

子どもに本を届ける活動をされていて、ありがたいと思う。図書館の支援や充実も必要で、今後もここに満足せず継続して取り組んでほしい。

(副会長)

ほんてつのビブリオバトルについて報告します。今年度は「据え置き型ビブリオバトル」として、愛知川図書館で開催しました。1 か月程度の間、自分のおすすめする本と、紹介文を置き、じっくりと見ていただきました。非常に好評で、70 名程度の参加がありました。来年は可能であれば従来の形に戻したいと思います。

(委員)

あそブッククラブについてです。子どもが図書館で活動できることを、ということで、4 月に愛知川、9 月に秦荘図書館で「どうぞの本だな」を企画し開催しました。秦荘図書館での開催中にあそブッククラブへの参加を申し出てくれた方もいらっしゃるので、次年度は本格的に活動を開始したいです。今企画しているのは、図書館の福袋を子どもと一緒に作れないか、と思っています。少しづつ活動を広げ、本好きな子どものための空間を作りたい、行政や図書館任せではなく町民の活動として読書を推進したいと思っています。

	<p>(委員) あそブッククラブは、3 月くらいに PR を兼ねて企画したいと思います。子どもの意見を聞きながら、図書館で何ができるか考えたいです。図書館の皆さんの御協力をおねがいします。</p> <p>(会長) ほかになれば、事務局よりどうぞ。</p> <p>(事務局) 次回開催日は 3 月 2 日(水)でいかがでしょうか。</p> <p>(異議なし) では、3 月 2 日(水)愛知川図書館でお願いします。 また、2 年間の任期の更新年となります。委員の皆様におかれましては、引き続き図書館協議会委員としてご活動くださいますようお願いいたします。</p> <p>(副会長) 子どもの頃に読んでもらった絵本、例えばぐりとぐらでは、絵本を読んでもらったことと、そのあとでホットケーキを焼いてもらったことを覚えています。親読書のとりくみで、本を読んでいる姿を見せることが何よりの子どもへのメッセージであると思います。子育ての中では親の自分が育てられる、と覚えることが多々あり、子どもの教育は保護者のあり方が問われると覚えることがあります。 本日はありがとうございました。</p>
問い合わせ先	愛知川図書館 連絡先 0749-42-4114